

| | | | | | |
|--|---|---|--|---|-------|
| 苫小牧工業高等専門学校 | | 開講年度 | 平成30年度 (2018年度) | 授業科目 | 日本文化論 |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 116901 | 科目区分 | 一般 / 選択 | | |
| 授業形態 | 授業 | 単位の種別と単位数 | 学修単位: 2 | | |
| 開設学科 | 物質工学科 | 対象学年 | 4 | | |
| 開設期 | 後期 | 週時間数 | 後期:3 | | |
| 教科書/教材 | 自作プリント、『三訂版 国語の常識 plus』(明治書院) / 参考図書は適宜紹介する | | | | |
| 担当教員 | 片山 ふゆき, 蓼沼 正美 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 1、『堤中納言物語』『とりかへばや物語』の物語内容を的確に理解することができる。 2、『堤中納言物語』『とりかへばや物語』の背景となっている文化的な事項について理解することができる。 3、ジェンダーの問題について、考察することができる。 | | | | | |
| ルーブリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | |
| 1、『堤中納言物語』『とりかへばや物語』の物語内容を的確に理解することができる。 | 『堤中納言物語』『とりかへばや物語』の物語内容を十分理解している。 | 『堤中納言物語』『とりかへばや物語』の物語内容を基本的に理解している。 | 『堤中納言物語』『とりかへばや物語』の物語内容を理解していない。 | | |
| 2、『堤中納言物語』『とりかへばや物語』の背景となっている文化的な事項について理解することができる。 | 『堤中納言物語』『とりかへばや物語』の背景となっている文化的な事項について、十分理解している。 | 『堤中納言物語』『とりかへばや物語』の背景となっている文化的な事項について、基本的に理解している。 | 『堤中納言物語』『とりかへばや物語』の背景となっている文化的な事項について、理解していない。 | | |
| 3、ジェンダーの問題について、考察することができる。 | ジェンダーの問題について、十分に考察することができる。 | ジェンダーの問題について、基本的に考察することができる。 | ジェンダーの問題について、考察することができない。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 二つの物語作品を教材として取り上げ、多様な角度から読み解いていくことで、日本文化に関する理解を深める。前半(中間試験まで)は、物語文学である『堤中納言物語』を教材とし、日本の古典文化のあり様を学習する。後半(定期試験まで)は、男女入れ替えのテーマを扱った『とりかへばや物語』を教材とし、現代にわたるジェンダーの問題を考える。 授業は主に講義の形で進めるが、自学自習の成果を確認するために、10回の小テストを授業中に行う。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 達成目標に関する試験、課題・レポート及び小テストにより、以下の要領で評価する。合格点は60点である。中間及び定期試験75%、課題・レポート15%、小テスト10%の割合で評価する。成績が60点未満の場合は、再試験を実施する場合がある。なお、その場合の評価の上限は60点とする。 | | | | |
| 注意点 | 副教材『三訂版 国語の常識 plus』(明治書院)により自学自習に取り組むこと。 取り上げる教材の内容について、テキストやプリントを参考に、十分理解を深めておくこと。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | オリエンテーション 『堤中納言物語』 「花桜折る中将」第1節① | 授業の進め方や履修上の留意点を理解する。 平安貴族の恋愛・結婚について理解する。 | |
| | | 2週 | 『堤中納言物語』 「花桜折る中将」第1節② | 平安貴族の私生活について理解する。 | |
| | | 3週 | 『堤中納言物語』 「花桜折る中将」第1節③ | 平安貴族の一生について理解する。 | |
| | | 4週 | 『堤中納言物語』 「花桜折る中将」第2、3節 | 平安貴族の服装や乗り物について理解する。 | |
| | | 5週 | 『堤中納言物語』 「花桜折る中将」第4節① | 宮中で働く男たち・女たちについて理解する。 | |
| | | 6週 | 『堤中納言物語』 「花桜折る中将」第4節② | 天皇家の人々と宮中の建物について理解する。 | |
| | | 7週 | 『堤中納言物語』 「花桜折る中将」第5節 | 平安時代の仏教と俗信について理解する。 | |
| | | 8週 | 中間試験 | これまでの授業内容を確認する。 | |
| | 4thQ | 9週 | 『とりかへばや』の紹介と「ジェンダー」 | 異性装とは何を意味するか理解する。 | |
| | | 10週 | 明治時代・藤岡作太郎の評価と当時の評価 | 『とりかへばや物語』に対する各時代の評価の違いを把握し、背景となっている文化的事項を理解する。 | |
| | | 11週 | 『とりかへばや』前史—女性像と男性像— | 平安時代の物語文学において理想的とされた男性像、女性像を理解する。 | |
| | | 12週 | 『とりかへばや』を読む(異性装と物語展開)① | 『とりかへばや物語』の物語内容を理解し、そこにおける男女の描かれ方に関して理解を深める。 | |
| | | 13週 | 『とりかへばや』を読む(異性装と物語展開)② | 『とりかへばや物語』の物語内容を理解し、そこにおける男女の描かれ方に関して理解を深める。 | |
| | | 14週 | 『とりかへばや』を読む(異性装の解除) | 『とりかへばや物語』の物語内容を理解し、そこにおける男女の描かれ方に関して理解を深める。 | |
| | | 15週 | 異性装を扱った作品とフェミニズムの問題 | ジェンダーとフェミニズムの問題を認識し、理解する。 | |
| | | 16週 | 定期試験 | これまでの授業内容を確認する。 | |
| モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標 | | | | | |
| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
| 評価割合 | | | | | |
| | 中間・定期試験 | 課題・レポート | 小テスト | 合計 | |
| 総合評価割合 | 75 | 15 | 10 | 100 | |

| | | | | |
|-------|----|----|----|-----|
| 一般的能力 | 75 | 15 | 10 | 100 |
|-------|----|----|----|-----|